



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月7日

上場会社名 株式会社 タムラ製作所  
 コード番号 6768 URL <http://www.tamura-ss.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅田 昌弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 橋口 裕作

TEL 03-3978-2031

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	18,973	9.5	207	82.5	274	78.4	2	
2019年3月期第1四半期	20,957	6.9	1,190	23.1	1,273	22.1	1,044	75.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 286百万円 (928.5%) 2019年3月期第1四半期 27百万円 (88.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	0.03	
2019年3月期第1四半期	12.74	12.66

(注) 2020年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	82,495	47,031	56.5
2019年3月期	86,073	47,155	54.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 46,639百万円 2019年3月期 46,764百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		5.00		5.00	10.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		5.00		5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,600	5.8	1,300	31.8	1,300	33.6	1,000	33.0	12.19
通期	86,800	0.2	4,300	6.5	4,200	13.4	3,000	53.1	36.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	82,771,473 株	2019年3月期	82,771,473 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	714,716 株	2019年3月期	728,716 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	82,053,372 株	2019年3月期1Q	82,012,591 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の長期化に伴い中国の設備投資や個人消費の減速が続き、その影響が我が国をはじめとしてグローバルに拡大いたしました。また、当社グループに関わるエレクトロニクス業界では、産業機械やスマートフォン関連の需要が低迷いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループでは2021年度をターゲットとする新中期経営計画「Biltrite Tamura GROWING ANEW」を、2019年4月に新たな経営体制でスタートしました。収益性の向上を第一とした豊かな成長の実現に向け、グループ一丸で成長市場に取り組み、グローバルな生産・販売・開発体制の強化と効率化を進めております。

しかし、足元では厳しい市場環境を背景に、収益源となる産業機械関連などを中心とした売上が前年同四半期実績を下回り、当社グループの当第1四半期連結累計期間の状況といたしまして、売上高は189億7千3百万円（前年同四半期比9.5%減）、営業利益は2億7百万円（同82.5%減）、経常利益は2億7千4百万円（同78.4%減）と減収減益になりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は2百万円（前年同四半期は10億4千4百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、売上高はセグメント間の内部売上高を含めており、セグメント利益はセグメント間取引消去及び本社部門負担の未来開発研究費用控除前の営業利益と調整を行っております。

#### ① 電子部品関連事業

電子部品関連事業は、設備投資需要の鈍化を背景に、産業機械関連顧客向けのトランス・リアクタ・電流センサ・LED製品などの需要低迷が続くとともに、中国市場向けのエアコン用リアクタや、電動工具用のチャージャなどが弱含みで推移いたしました。足元の状況は厳しいものの、将来の拡大に向けた環境車向け昇圧リアクタの国内外の生産拠点の構築は、計画通りに進めております。

その結果、売上高は125億5千8百万円（前年同四半期比7.3%減）、セグメント利益は2千万円（同95.3%減）と、減収減益になりました。

#### ② 電子化学実装関連事業

電子化学事業では、車載向けの高信頼性ソルダーペースト・ソルダーレジストが、自動車の電子化・電動化を背景に引き続き堅調に推移しておりますが、スマートフォン向けのソルダーレジストは例年より立ち上がりが遅れております。また、実装装置事業では、炉内の汚れを大幅に低減し生産性の向上に寄与する新型リフロー装置の堅調な受注が続いているものの、米中貿易摩擦を背景に、顧客において装置を設置する地域を見直す動きなども生じております。

その結果、売上高は60億1百万円（前年同四半期比10.8%減）、セグメント利益は4億5千4百万円（同40.4%減）と、減収減益になりました。

#### ③ 情報機器関連事業

情報機器関連事業は、国際的なスポーツイベントの開催や放送局の更新需要に向けた音声調整卓（ミキサー）をはじめとする放送機器の納品や、通信事業者向けの監視装置の売上を、年度末を中心に予定しております。売上平準化への取り組みも進めておりますが、当第1四半期連結累計期間の売上は利益確保に必要な水準に至りませんでした。

その結果、売上高は4億2千5百万円（前年同四半期比39.5%減）、セグメント損失は1億6千5百万円（前年同四半期は1億7百万円のセグメント利益）と、減収減益になりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ35億7千8百万円減少し、824億9千5百万円となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少などにより流動資産が55億4千7百万円減少したことなどによります。

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ34億5千4百万円減少し、354億6千3百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の返済などにより流動負債が45億5千9百万円減少したことなどによります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億2千3百万円減少し、470億3千1百万円となりました。これは主に、配当金の支払いなどにより利益剰余金が4億1千3百万円減少した一方、為替換算調整勘定が2億7千3百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に対して、当第1四半期連結累計期間の進捗には乖離がありますが、これには年度末となる第2四半期及び第4四半期連結会計期間に売上が集中する製品があることや、第1四半期連結累計期間に海外連結子会社の旧正月時期が重なり稼働が低下するなどの理由も含まれております。

現時点では期初に公表した予想数字の変更は行っておりませんが、米中貿易摩擦の長期化や各国の保護主義的な政策の高まりにより、今後の当社を取り巻く事業環境は厳しくなることが予想されます。市場動向など各種情報の収集に努め、業績予想に変更が必要と判断される場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,990	12,676
受取手形及び売掛金	22,100	20,102
商品及び製品	5,698	5,542
仕掛品	1,586	1,612
原材料及び貯蔵品	6,138	6,212
その他	2,852	2,671
貸倒引当金	△58	△56
流動資産合計	54,309	48,762
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,007	20,976
減価償却累計額	△10,774	△10,839
建物及び構築物(純額)	10,233	10,137
機械装置及び運搬具	16,184	16,639
減価償却累計額	△12,517	△12,480
機械装置及び運搬具(純額)	3,667	4,158
工具、器具及び備品	9,912	9,903
減価償却累計額	△8,422	△8,379
工具、器具及び備品(純額)	1,490	1,524
土地	5,159	5,138
リース資産	891	2,523
減価償却累計額	△462	△406
リース資産(純額)	429	2,117
建設仮勘定	1,515	1,574
有形固定資産合計	22,495	24,650
無形固定資産		
のれん	447	416
リース資産	232	358
その他	902	881
無形固定資産合計	1,581	1,656
投資その他の資産		
投資有価証券	3,975	3,945
退職給付に係る資産	1,994	2,029
繰延税金資産	1,189	922
その他	590	590
貸倒引当金	△63	△61
投資その他の資産合計	7,686	7,426
固定資産合計	31,764	33,733
資産合計	86,073	82,495

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,095	9,714
短期借入金	7,591	5,928
1年内返済予定の長期借入金	282	200
リース債務	195	885
未払法人税等	824	509
賞与引当金	1,055	539
役員賞与引当金	75	21
移転損失引当金	35	34
その他	3,254	3,018
流動負債合計	25,410	20,851
固定負債		
長期借入金	9,279	9,293
リース債務	531	1,669
繰延税金負債	94	99
移転損失引当金	11	2
退職給付に係る負債	3,136	3,105
その他	452	441
固定負債合計	13,507	14,612
負債合計	38,918	35,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,829	11,829
資本剰余金	17,037	17,036
利益剰余金	18,923	18,509
自己株式	△274	△269
株主資本合計	47,516	47,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78	10
為替換算調整勘定	△37	236
退職給付に係る調整累計額	△792	△714
その他の包括利益累計額合計	△752	△467
新株予約権	153	150
非支配株主持分	237	242
純資産合計	47,155	47,031
負債純資産合計	86,073	82,495

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	20,957	18,973
売上原価	14,572	13,590
売上総利益	6,385	5,383
販売費及び一般管理費	5,194	5,175
営業利益	1,190	207
営業外収益		
受取利息	14	15
受取配当金	32	32
為替差益	49	2
持分法による投資利益	13	21
補助金収入	24	51
その他	28	33
営業外収益合計	163	157
営業外費用		
支払利息	54	70
その他	25	20
営業外費用合計	80	90
経常利益	1,273	274
特別利益		
固定資産売却益	0	188
投資有価証券売却益	164	—
特別利益合計	164	188
特別損失		
固定資産除売却損	9	20
特別退職金	4	—
特別損失合計	13	20
税金等調整前四半期純利益	1,424	443
法人税、住民税及び事業税	206	176
法人税等調整額	170	271
法人税等合計	376	447
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,047	△3
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,044	△2



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,047	△3
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△222	△67
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△852	247
退職給付に係る調整額	99	78
持分法適用会社に対する持分相当額	△44	32
その他の包括利益合計	△1,019	290
四半期包括利益	27	286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33	281
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用在外連結子会社は、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表において、固定資産の部にリース資産(純額)17億7百万円、流動負債の部にリース債務6億6千1百万円、固定負債の部にリース債務10億5千1百万円が計上されております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子部品 関連事業	電子化学 実装関連 事業	情報機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,553	6,698	701	20,954	3	20,957	—	20,957
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	29	1	30	166	196	△196	—
計	13,553	6,728	703	20,985	169	21,154	△196	20,957
セグメント利益	430	761	107	1,299	7	1,306	△115	1,190

- (注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸・倉庫業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△115百万円には、セグメント間取引消去20百万円及び各報告セグメントに配賦していない本社部門負担の未来開発研究費用△135百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子部品 関連事業	電子化学 実装関連 事業	情報機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,558	5,989	424	18,972	0	18,973	—	18,973
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	11	0	12	171	183	△183	—
計	12,558	6,001	425	18,985	172	19,157	△183	18,973
セグメント利益又は 損失(△)	20	454	△165	308	9	318	△110	207

- (注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸・倉庫業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△110百万円には、セグメント間取引消去15百万円及び各報告セグメントに配賦していない本社部門負担の未来開発研究費用△126百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。